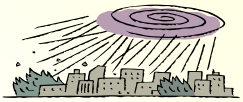
防災の日・防災週間



防災の日・防災週間ってなに？

毎年９月１日は「防災の日」、８月30日～９月５日は「防災週間」とされており、昭和57年５月11日に閣議で了解されました。

防災の日である９月１日の日付は、大正12年９月１日に発生した関東大震災にちなんだものであるほか、９月１日頃は「台風が多い」「風が強い」日と言われる二百十日（暦の上での雑節の一つ、立春から数えて210日目の日）にあるため『災害への備えを怠ることのの無いように』という戒めも込められています。

【今すぐやろう災害への備え】

1　避難場所・避難経路の確認

避難場所・避難経路を確認し、災害発生時に家族でどこに避難するのかや、避難時の連絡方法を決めておく。

2　非常用持ち出し袋の確認

衣類や常備薬、ラジオ、懐中電灯等を入れた防災リュックを準備し、直ぐに持ち出せる場所に置いておく。（マスク等の感染症防止グッズも忘れずに!!）

3　食料品の備蓄

食料や飲料水等を備蓄しておく。（できれば約１週間分）

4　危険箇所の把握

市町村が公表している「ハザードマップ」で危険箇所を確認し、災害が発生した際は絶対に近づかない。

5　訓練への積極的な参加

災害発生時、住民同士の協力体制を構築するため、防災に関する訓練が行われる場合は、積極的に参加する。